



「聖書を読んでもみませんか」

辻 喜 男

テレビでも人気のあるジャーナリスト池上彰さんが「聖書がわかれば世界が見える」という本を書いています。その本の紹介文には、「世界で最も読まれている書物、『聖書』を多くの日本人は読んだことがありません。しかし、『聖書』を理解することは、世界の教養を身につけることであり、世界を理解することにもつながります。そこで本書は、『聖書』が世界にどのような影響を与えているか解説しています。」また「国際情勢を理解するには、いまの世界をつくった『聖書』を知ろう。」と書かれています。

『聖書』は古典中の古典ですが、ただ単に古い時代の外国の物語でなく、また神話のたぐいではありません。イエス・キリストが誕生する以前のイスラエル民族の歴史を記す旧約聖書と、イエス・キリストの誕生以降の歴史を記す新約聖書が一冊になって『聖書』と呼ばれています。イスラエル民族が神の民として選ばれたことで、さらにその民からイエス・キリストが誕生し、神の救いが世界のすべての民に与えられていることを記す、神の壮大な救いの記録です。

『聖書』は一冊の書物であって、一冊の書物ではありません。確かに本としては『聖書』という題名で一冊の書物になっています。しかしその内容は種々の内容と、多くの著者による六十六巻ならなる文書の集大成です。旧約聖書の書かれた年代は、紀元前 1400 年頃から紀元前 400 年頃とされています。また新約聖書は紀元 50 年から 100 年の間に書かれた文書です。それぞれの著者も書かれた目的も異なりますが、『聖書』として一冊にまとめられているのは、不思議にも統一された内容になっているからです。全六十六巻は、全世界の人間に対する神の愛と救いで貫かれています。

『聖書』は分厚い本ですし、内容も異なることから小説のように最初から読み始める必要はありません。まず目次を見て、興味のあるところから読み始めてください。初めての方には旧約聖書の『詩篇』をお勧めします。イスラエル民族の魂の詩集です。また新約聖書では四種類ある『福音書』の中のどれか一つから読み始めてください。

『聖書』そのものをお持ちでない方、また以前に読みかけたが挫折した方は、ご遠慮なく教会にご連絡ください、あなたの聖書を読みたいというお気持ちのお手伝いをさせていただきます。